



あさひかわ応援寄附金 (ふるさと納税)について

市では、まちの魅力を広くPRするとともに、まちづくりの財源を確保するため、ふるさと納税の取組みを推進しています。取組みの一部と現状を紹介します

【詳細】税制課 25・5604

寄附金の主な使い道

高齢者福祉

1人暮らしをしている高齢者の見守りや、交流の場であるふれあいサロンの運営を通じて、つながり支え合うまちづくりの費用に **566万5,000円**

都市緑化

市内各所の花壇づくりやプランターの設置、植樹活動など、都市緑化の費用に **2,022万6,000円**

スポーツ振興

競技力の向上や選手の活躍による地域の知名度向上を図るため、全国・世界大会への選手派遣費に **399万3,000円**

ものづくり産業の支援

技能者の養成と技術の伝承のため、技能五輪大会への出場経費補助や技能PRイベントなどの費用に **229万4,000円**

※その他、子育て支援やまちなか活性化などの分野にも、寄附金を活用しています。

旭川の魅力を地場産品でPR!

市では、一定額以上の寄附をしていただいた市外の方に、感謝の気持ちを込めて、寄附金額に応じた返礼品を送っています。返礼品は、事業者の皆さんから募集した商品の中から選定しています。

テレビでも紹介! 人気返礼品「奇跡のプリン」



流通団地に店舗がある、スノークリスタル北海道・取締役の坂井紀幸さかいのりゆきさんに話を聞きました。

旭川市のことを全国の方に
知ってもらおうきっかけになれば

返礼品として提供している「奇跡のプリン」は、旭川で自然放牧されて育った牛から搾った低温殺菌牛乳を使用するなど、北海道産の原材料にこだわっています。また、滑らかな口当たりを出すため、製造には一切機械を使用せず、全行程を従業員による手作業で行っており、1日約2,000個を出荷しています。

最近、全国ネットのテレビなどでも紹介していただき、多くの方に知ってもらえる機会が増えました。ふるさと納税ではリピーターが多いのが印象的でしたが、これからは商品PRに加え、新商品の開発など、より多くの方に喜んでもらえるような物を提供していきたいと考えています。そして、自社製品を通して全国の方に旭川市を知ってもらい、応援を呼び掛けていきたいです。

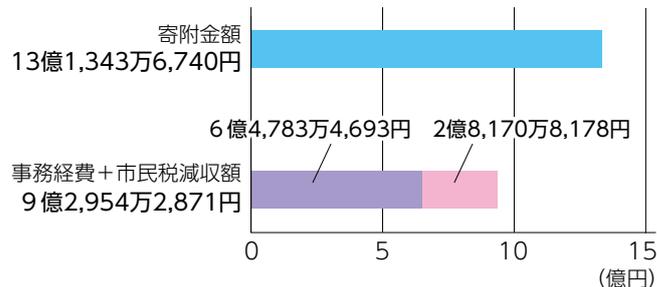


収支は黒字! 一方で...

令和元年度は、過去最高となる延べ8万1,238件、13億1,343万6,740円もの寄附をいただきました。寄附金額から、ふるさと納税のシステム利用料や返礼品代などの事務経費6億4,783万4,693円と、市民税の減収額を差し引くと、3億8,389万3,869円の黒字となりました。

なお、旭川市民が市外へ寄附したことによる市民税の減収額は、2億8,170万8,178円と推計されます。

令和元年度ふるさと納税の収支



あさひかわ応援寄附金の情報を発信中

最新情報は、市HPやフェイスブックで随時発信しています。

旭川市
ホームページ



あさひかわ
応援寄附金
フェイスブック

